

## 2020年創立90周年を迎える 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事長 年頭所感 未来に向けた組織づくりへの挑戦

### 2020年度 事業団目標

- 1.多様な人材確保・育成と柔軟な働き方への対応
- 2.社会福祉法人の使命の追求と地域共生社会の実現
- 3.先駆的な取り組みと最高のサービスの提供
- 4.経営の安定化と将来を見据えた組織改革

あけましておめでとうございます。

2019年4月に静岡県立浜松学園の指定管理事業を受託し、新たに運営を開始しました。また、7月に聖隷横浜病院の新外来棟、9月に聖隷佐倉市民病院の新病棟、10月に聖隷三方原病院の地域障がい者総合リハビリテーションセンターを竣工・稼働させることができました。

2040年には高齢人口の伸びは落ち着くものの、後期高齢者は増え、現役世代が減少することが見込まれています。聖隷福祉事業団(以下、聖隷)としても、将来の社会を想定し、持続可能な法人のあり方、他法人との連携の形を検討していかなければならないと感じています。引き続き、地域共生社会の実現に向けて、多様な人材の確保と柔軟な働き方、経営の一層の安定化に取り組み、AIやICTなど次世代ヘルスケアへの対応を準備していきます。



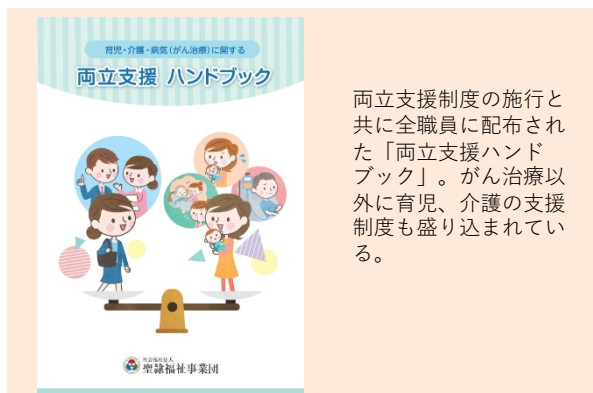
理事長

山本 敏博

### 1.多様な人材確保・育成と柔軟な働き方への対応

人生100年時代といわれる中、シニア世代に期待する役割や業務・働き方を明確にし、能力や成果が発揮できる仕組みをつくる、その為の処遇や評価を含めて検討していきます。

また、外国人や障がい者、子育て・介護・病気の治療などと仕事を両立する職員など多様な人材が活躍し、長く働き続けられる環境、女性の更なる活躍推進に向けた取り組み・研修、将来の管理者の育成などを含め、聖隷の事業の根幹である人づくりを継続していきます。



両立支援制度の施行と共に全職員に配布された「両立支援ハンドブック」。がん治療以外に育児、介護の支援制度も盛り込まれている。

### 2.社会福祉法人の使命の追求と地域共生社会の実現

それぞれの地域で困っていること、制度の狭間のニーズに行政や制度では対応できないこと、高齢者や障がい者、子どもなど、地域のセーフティネットを守る取り組みを更に推進していきます。

また、近年、地震や台風など大規模な災害が毎年のように発生する中、災害拠点病院や協力病院、福祉避難所などの役割を担っている施設は更なる機能の強化を進め、その他の施設においても災害時に期待される役割を明確にし、地域に貢献できるよう整備していきます。



聖隷トライサポートセンター内にあるリハビリテーション特化型デイサービス施設「聖隷トライサポート和合」。専門職を厚く配置し、医療的リハビリテーションの継続、介護・福祉分野でのリハビリテーションを行う。

### 3.先駆的な取り組みと最高のサービスの提供

2006年に病院の電子カルテ化を開始し、その後も医療・介護記録のICT化を図ってきましたが、今後は蓄積されたデータが活用されるよう、ネットワークづくりに力を入れていきます。その他、AIやロボットなどの情報技術を活用することで、時代の変化に対応した新たなサービスの創出、先駆的な取り組みを推進していきます。一方で、聖隷らしい質の高いサービスを大切に、今後も医療や介護の先進国における取り組みを学び、聖隷のサービス・技術を世界水準のものとして、海外へ提供することを考えていきます。

地域・企業の健診事業や介護・認知症・フレイル予防を推進するとともに、健康経営に取り組んでいきます。また、公的機関と共同して聖隷に蓄積されたデータを分析することで、ゲノム・遺伝子医療などの先進医療に役立て、地域全体の健康を守り、医療の質向上につなげていきます。社会健康医学や医工連携などの事業に参画することで、医療・福祉を通じた地域のまちづくり、産業発展にも貢献していきます。



組織と職員の努力が評価されWorld's Best Hospitals2019において世界トップ100に選出された「聖隷浜松病院」。

### 4.経営の安定化と将来を見据えた組織改革

今年は診療報酬の改定が予定されていますが、ここ数年、医療機能の分化や医療と介護の役割分担が大きなテーマとなっています。ご利用者や地域内のニーズを再検証し、どのように役割を果たしていくか、自施設の機能がどうあるべきか、また、地域内の医療資源やサービスとどのように連携するか、地域毎に将来を見据えた医療提供体制についても考えていく必要があります。

2000年以降、事業は拡大し、施設数は69から158施設、職員数は約4,200名から約15,500名へ拡大してきました。これまで聖隷は事業部制で運営を行ってきましたが、将来にわたり持続可能で総合力が発揮できるよう、事業部制や執行役員体制の見直しが必要であると感じています。また、地域内の社会福祉法人の経営力の強化や連携したサービスが期待される中、厚生労働省の「社会福祉法人の事業展開等に関する検討会」へ連携推進法人制度の創設に関して私の意見を申し上げました。今後の議論の行方を注視するとともに、他法人との連携のあり方を検討していきます。

### 最後に

聖隷が創立90周年を迎える2020年は現中期事業計画の最終年度でもあります。急速に変化する社会構造や時代に対応するため、2025年を見据えた次期中期事業計画の策定、グローバル化やダイバーシティ、SDGsなど未来に向けた組織づくりに挑戦していきます。一方で、変化を求められる時代だからこそ、変わることをない理念を体現した5つの「聖隷の使命」に立ち返ることも必要です。この1年、地域の皆さまがより安心して生活できるような地域共生社会の実現に向けて、将来を見据えた組織づくりに取り組んでいきます。



SEIREI  
90th

90周年記念事業ロゴマーク。聖隷が一体となって社会を支えていくこと、多様な考えを受容していくという意味が込められている。

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 <http://www.seirei.or.jp/hq/index.html>

■年頭所感全文はこちら

【代表者】 理事長 山本 敏博 (やまもと としひろ)

【本部所在地】 静岡県浜松市中区元城町218-26

【事業内容】 1. 医療事業 2. 保健事業 3. 福祉事業 4. 介護サービス事業

【基本理念】 キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【聖隷の使命】 いのちと尊厳のために・利用される人々のために・地域社会とともに・未来を築く・最高のものを

【事業規模】 施設・事業数…158施設・355事業 (2020年1月現在)、職員数…15,621名 (2019年11月現在)

サービス活動収益…約1,161億円 (2018年度)

【創立】 1930年5月

1930年、聖隷福祉事業団の事業は、結核に苦しむ貧しい人々のお世話を原点に始まりました。

その後、時代、地域の要請に応え、保健・医療・福祉・介護サービスの4つの領域を総合的に提供する社会福祉法人へと成長し、2020年で90周年を迎えます。



<本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先>

【聖隷福祉事業団】 広報事務局(フロンティアインターナショナル内) 担当: 藤野(070-2197-8910)、林(070-4517-0996)、千葉  
TEL: 03-5778-4844 / FAX: 03-5778-4747 / mail: [frontier-pr@frontier-i.co.jp](mailto:frontier-pr@frontier-i.co.jp)